

(別紙)

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の概要(平成18年度)

基金の名称	家畜疾病経営維持基金
法人名	(社)中央畜産会
基金額(機構補助金等相当額)	396百万円(396百万円)(平成18年4月1日現在)
基金事業の概要	畜産経営においてBSE、高病原性鳥インフルエンザ等広範囲に影響を与える家畜伝染病等が発生した場合に、畜産経営の再開、継続及び維持に必要な家畜の導入、飼料・営農資材の購入等に要する資金を融通する融資機関に対し、利子補給を行う。

2. 見直し結果(平成18年度)

項目	講ずる措置	
実施した見直しの概要	今後とも基準に適合するよう事業を実施	
基金事業実施期間	平成22年度までに事業を終了する。	
次の見直し時期	次回見直しは平成21年度に実施する。	
基金の保有割合	算出した保有割合は、0.3であった。算出に用いた方式及び数値については、以下の通りである。	
基金の保有割合の算出	(算出に用いた方式) 保有割合 = 直近年度末の基金額 ÷ (事業が完了するまでに要する利子補給額及び管理費) (算出に用いた数値) 直近年度末の基金額：平成17年度末の基金額：396百万円 事業が完了するまでに要する補助額及び管理費：1,168百万円	
使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果	使用見込みの低い基金等の該当の有無	無
	(使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果)	
その他		